

2026年4月19日

クラブリーダーシップラーニングセミナー



ロータリー 米山記念奨学事業

三荒弘道ガバナーノミニーデジグネート
平塚ロータリークラブ



自己紹介

氏名：三荒弘道（みあらし こうどう）
年齢：60歳
役職：浄土宗 善徳寺 第31代住職
浄土宗 宗源寺 第29代住職
浄土宗 大松寺 第29代住職
最終学歴：大正大学 仏教学部卒

平塚ロータリークラブ所属

現役職

浄土宗 宗議会議員
浄土宗 大本山 鎌倉光明寺 協議員
ユニセフ神奈川支部 委員
平塚市 保護司会 委員
平塚経進会 副会長
平塚青年会議所シニア会 副会長

歴職

2003年 公益社団法人 平塚青年会議所 第45代理事長
2005年 日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会 第38代会長



01

米山記念奨学
事業とは？

米山記念奨学事業の概要

▶ 日本のロータリー**独自の事業**
(RIが定める多地区合同活動の手続を完了)

▶ 日本で学ぶ**外国人留学生を支援**
(公益財団法人を設立し運営)

▶ **世話クラブ・カウンセラー制度で**
交流を重視“人を育てる事業”

設立趣旨書

財団法人ロータリー米山記念奨学会

この法人は、主としてアジア諸国、又はその他のロータリー所在国の学生又は学者に対し、わが国において勉強又は研究するための奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的として設立する。

この法人は、昭和27年に東京ロータリー倶楽部が設定し、昭和32年に全国のロータリークラブに参加を求めて以来、逐年発展し、今や在日全ロータリークラブの共同事業となり、国際留学生に対する奨学金の支給を通じて、所期の目的たる国際理解と親善にも多大の成果を収めつつある、ロータリー米山記念奨学会の事業と財産を継承し、法人化によってその基礎を確立し、今後一層奨学事業の発展を期するため設立されるものである。

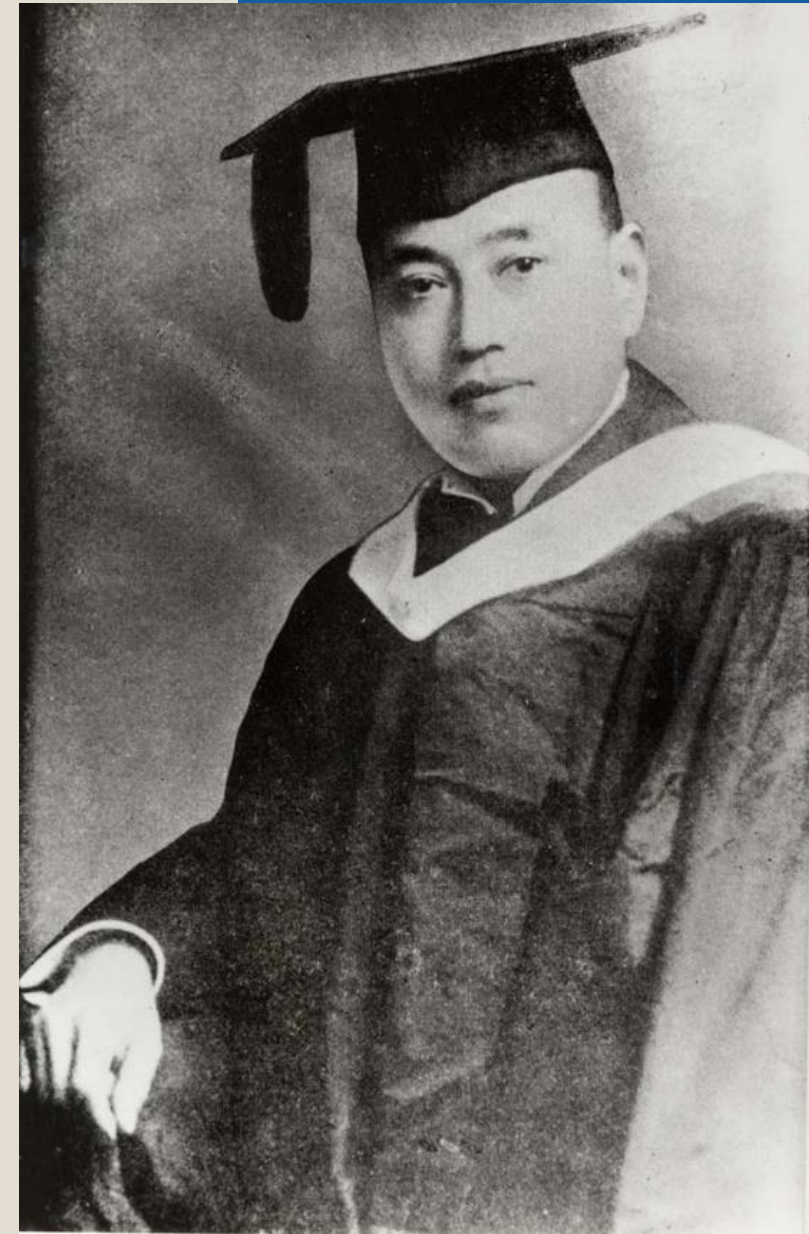
この法人は、全国ロータリークラブの寄付を主たる財源とし、ロータリー会員によって運営され、ロータリー目的達成に寄与することを目的としている。

昭和42年

日本のロータリーの父

米山 梅吉氏 (1868-1946)

- ポール・ハリス氏と同じ1868年に誕生
- ダラスRC会員の福島喜三次氏と米国で出会い、1920年、日本で最初のロータリークラブ、東京RCを創立
- 日本初の信託会社、三井信託株式会社を設立



事業の目的

なぜ外国人留学生を支援するのか？



米山基金の構想を
発表した
古澤文作会長

この事業は1952年、東京ロータリークラブが発表した「米山基金」に始まります。日本のロータリーの創始者である故・米山梅吉氏の生前の功績を讃え、後世まで残る様な有益な事業を行いたい。

東京RCが設立したのは、海外から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学金事業でした。その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、『平和日本』を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという、戦後のロータリアンたちの強い願いがありました。

「米山基金」から

70年



米山基金創設
から70年



財団設立
50周年



財団法人
設立



日本全国の
組織へ



日本のロータリーが
国際ロータリーへ復帰



東京R Cが
米山基金を発表

“平和日本”を
世界へ



米山梅吉氏
逝去



国際ロータリー (RI) と米山

- 2002 ● ロータリー研究会のプログラムに
- 2004 ● **RI理事会**で米山記念奨学事業が称賛される
- 2007 ● ロータリーの**多地区合同活動**としての手続きを完了
- 2014 ● 国際ロータリーが学友の定義拡大、米山学友も「**ロータリーの学友**」に
- 2016 ● ソウル国際大会で初の分科会開催

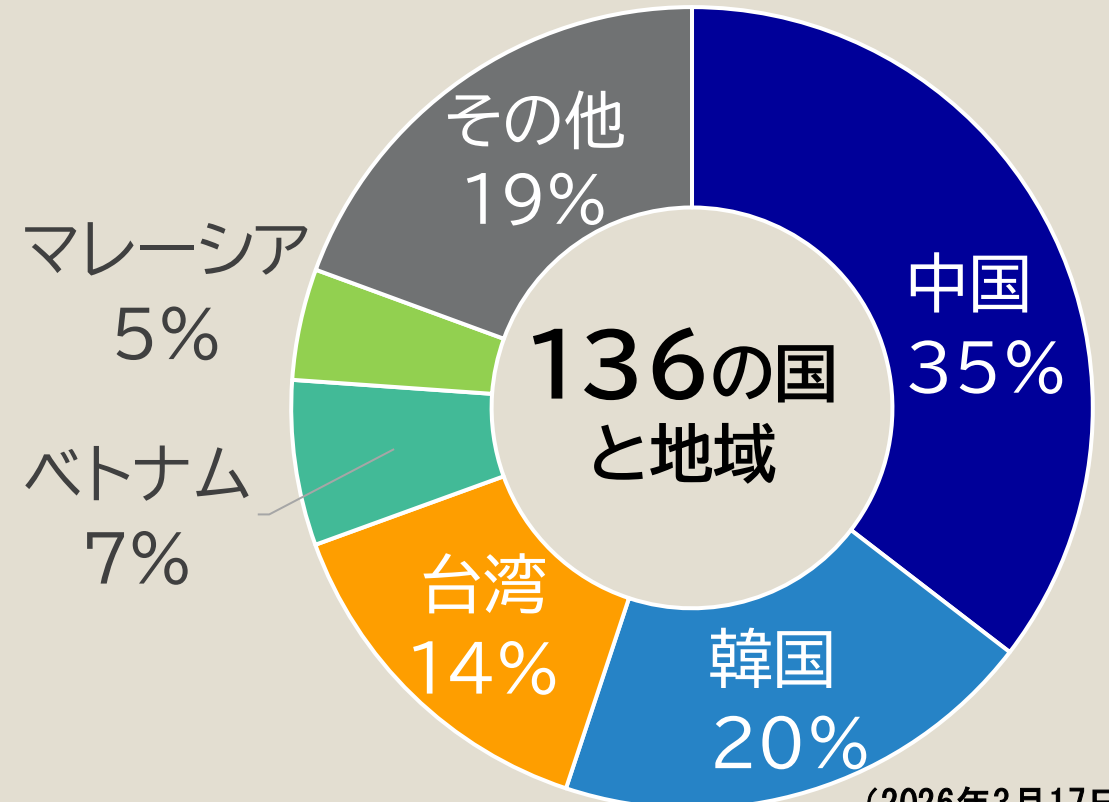
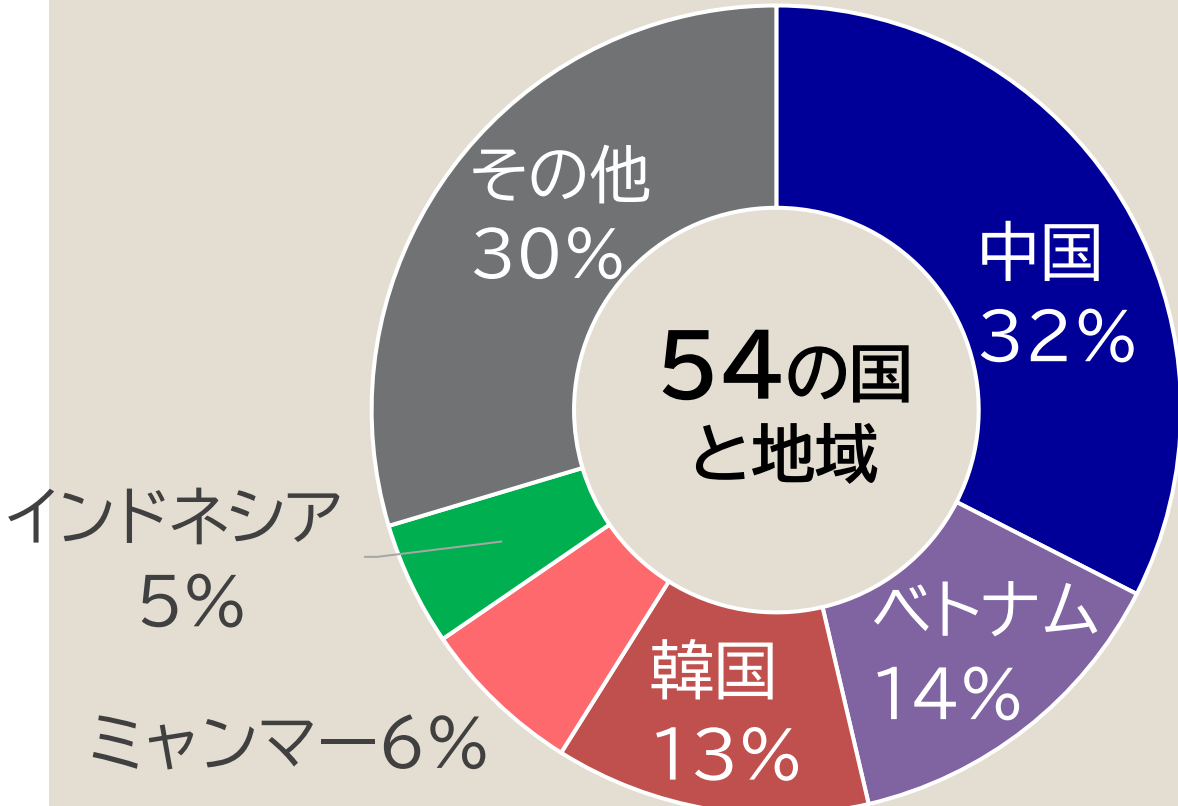
02

米山奨学生

国内最大級の奨学生数

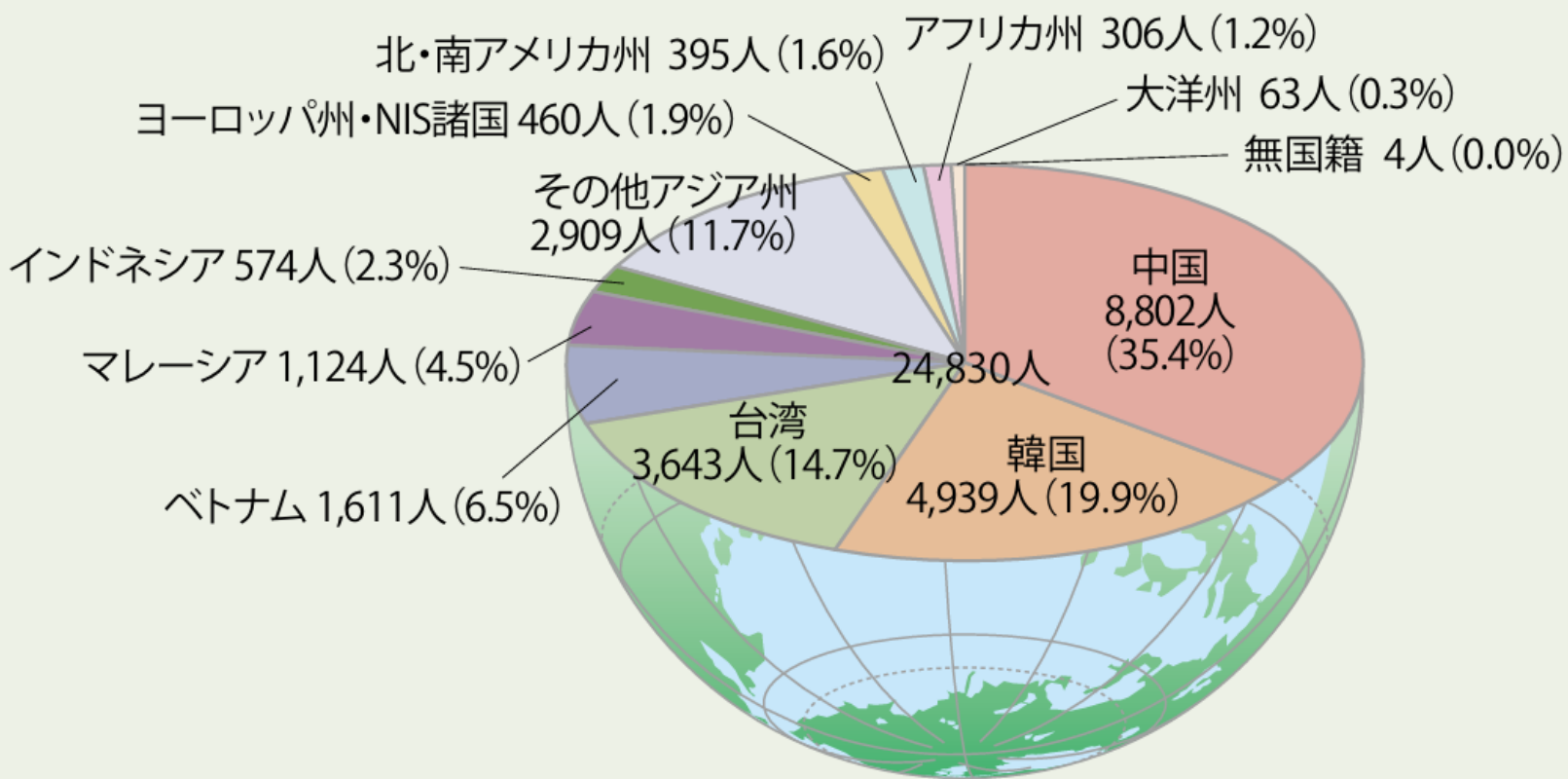
2026学年度：**暫定969人**
新規682人 継続287人

累計**25,498人**



これまでに支援した米山奨学生

出身の国・地域

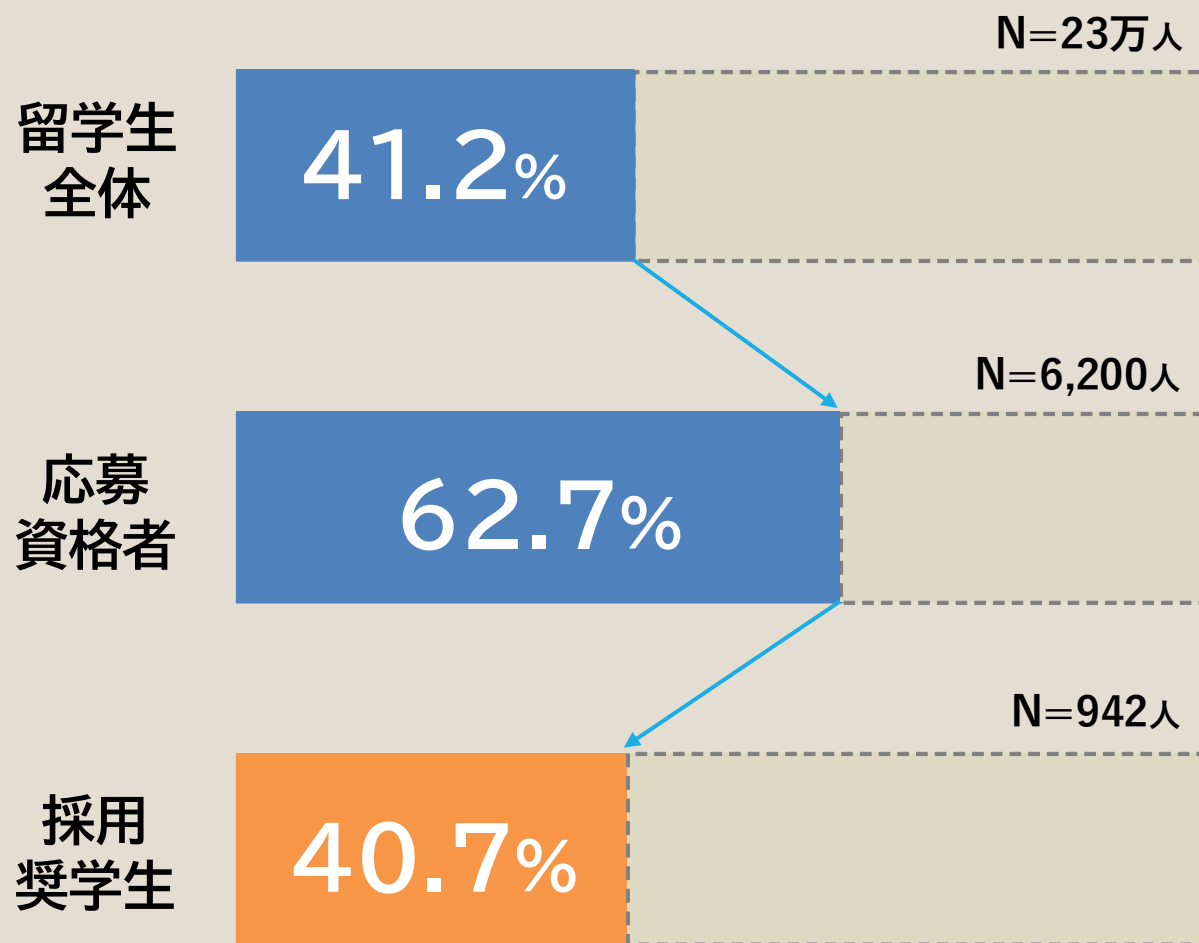


これまでに累計で

134

の国・地域の学生を
支援しました。

Q 中国人奨学生の割合は増えていきますか？



- ✓ この10年間は大きな増減なし
- ✓ 日本の高等教育機関で学ぶ外国人留学生の41.2%が中国人
- ✓ 指定校推薦で合格した奨学生の40.7%が中国人
- ✓ 各地区選考委員会は、地域の偏りを避けるよう努力（中国国内の地域の多様性を重視）

奨学生の選考

採用基準（全国統一）

- ・勉強への意欲、人物面・学業面が優秀、将来日本との懸け橋になりうる人材
- ・家庭状況、経済状況は評価対象外

目的

交流への
熱意

地区
裁量

人間性
人柄

コミュニ
ケーション

03

寄付金の状況

ご寄付は奨学事業に

2024-25年度は、寄付金収入が約1億1,500万円の減少



全体支出の **97%** が事業費

寄付金の 種類

普通寄付金

- ✓ 財団法人設立時の約束
- ✓ 奨学会の安定財源
- ✓ クラブで決定した金額 × 会員数

米山奨学会への寄付は
寄付金控除の対象です

特別寄付金

- ✓ 個人・法人・クラブからの任意寄付
- ✓ 1円～0K！
- ✓ 表彰対象

表彰制度 【個人寄付】

累計額	表彰名	表彰品
3万円	準米山功労者	
10万円	第1回米山功労者	感謝状
20万～90万円	(以降10万円毎に) 第2回～9回 米山功労者マルチプル	感謝状 +50万円でピンバッジ (銀色)
100万 ～390万円	第10回～ 米山功労者	感謝状 +100万円毎にピンバッジ (金製)
400万円～	メジャードナー	感謝状 +100万円毎にクリスタル盾



▲ 50万円の表彰品 (ピンバッジ)



▲ メジャードナー表彰品 (ピンバッジ)

紺綬褒章の公益団体に認定

申請に向けたご寄付を検討される際は
あらかじめお申し出ください。

対象

2018年9月12日以降のご寄付

累計額

個人

500万円～

団体/企業

1,000万円～

※分納による寄付も可能



内閣府HPより

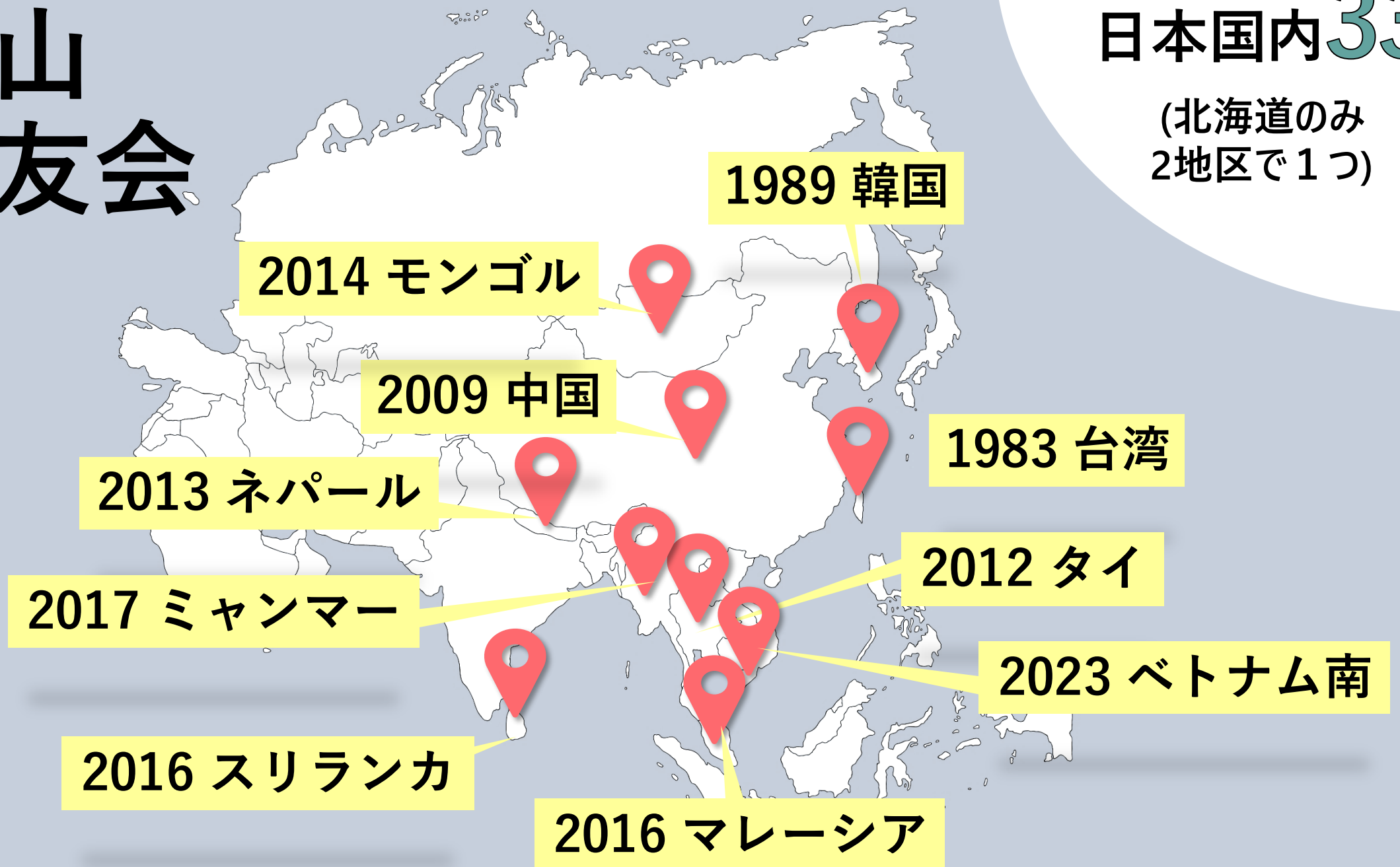
04

巣立った
米山奨学生

米山 学友会

日本国内33

(北海道のみ
2地区で1つ)



台湾 米山学友会

日本人への奨学金17年目、累計67人*支援。
日本留学推進活動も。

*25年採用の奨学生6人を含む



2026年12月、台湾で

米山学友による世界大会が開催されます



韓国 米山学友会

韓国でも！日本人への奨学金 10年目。
累計57人を支援。



スリランカ 米山学友会

毎年新学期に山岳部の小学校へ文具を送る
奉仕活動を実施。



タイ 米山学友会

2024年タイ北部で発生した大雨・洪水の
被災地へ義援金を寄付。



学友からロータリー会員へ

ロータリー会員になった
米山学友

311人

出身国・地域 TOP 3

台湾: 88人 中国: 74人 韓国: 73人

今年度のクラブ会長を
務めるのは...

パクサダコ
朴貞子さん

東京友愛RC会長

2750地区



ジョカエイ
徐佳鋭さん

茨城ERC会長

2820地区



学友からロータリー会員へ

学友が作ったクラブ

6 + 2[★]
衛星クラブ

米山学友として
4人目のガバナーが誕生!!
*2025-26年度 ガバナーエレクト

ガバナーになった学友

故人



リム ユンウィ
林 隆義氏

1997-98年度

3650地区
(韓国)



キョ コクブン
許 國文氏

2005-06年度

3490地区
(台湾)



リン カミン
林 華明氏

2015-16年度

3522地区
(台湾)



ラスマナ・
センダリウス氏

2026-27年度

3410地区
(インドネシア)






学友からの寄付 恩返しの気持ち

1億 3,198万円

出身国・地域別

1	中国	91,813,363円	62人
2	台湾	31,241,001円	47人
3	韓国	3,552,000円	23人

義援金

-  東日本大震災 約760万円
-  熊本大地震 上海から約20万円
-  熱海土砂災害 台湾から約150万円
-  能登半島地震 約300万円
-  遺言寄付 200万円
など…

恩返しの気持ち

学友からの寄付



周 順圭氏（中国出身）
個人として50万ドル
（6,885万円）の寄付



張 虞安氏（中国出身）
17年間毎年寄付

05

知っておいて
いただきたい事

奨学生に関わる危機管理

自然災害



病気・事故



ハラスメント



地区米山奨学委員会 → 危機管理委員会へ報告・対応

地区単位の
LINEグループ等

現役奨学生の
傷害保険

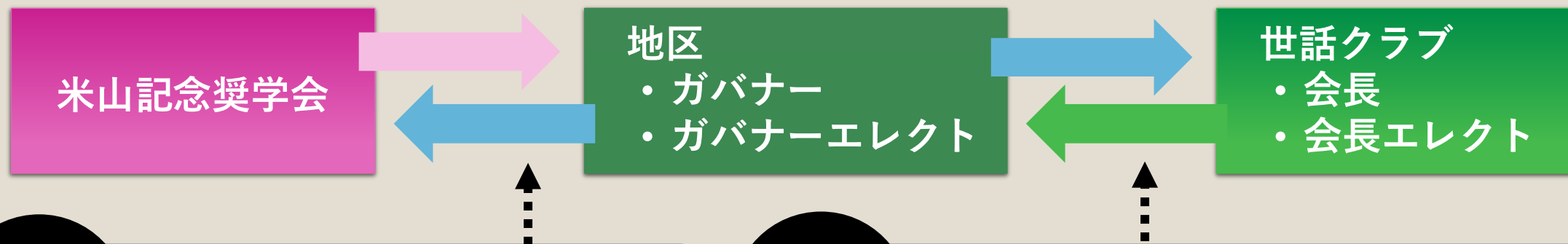
- 例会出席
- オリエンテーション
- 終了式

奨学生
→ ハラスメント
相談窓口

地区・世話クラブ
→ 賠償責任保険

業務委託・覚書の締結

- 2020学年度からスタート、毎年実施



毎年
1~2月

業務委託に係る覚書

原本(2部)は、

- ①ガバナー事務所
- ②米山奨学会で保管

毎年
2~3月

業務委託に係る覚書 (世話クラブ)

原本(2部)は、

- ①ガバナー事務所
- ②世話クラブで保管し、
写しをPDFで奨学会へ提出



世界のロータリアンへ日本の
米山記念奨学事業をPRします！

分科会

2026年6月15日(月)
11:00~12:00

KINTEX

ブース

6月13日(土)~17日
(水)

9:00~18:00

最終日は14:00

KINTEX



台北国際大会で お待ちしております！

2026年の台北国際大会では世界に向けてロータリー米山記念奨学事業をPRします。また、分科会では学友が登壇して米山学友・学友会での実践を発信する予定です。ぜひ、お立ち寄りください！



企画協賛
 ロータリー米山記念奨学会
 ロータリー米山記念奨学会




6/12 Fri

台湾米山学友会主催 歓迎懇親会

台湾米山学友会
 主催の歓迎会を
 開催します！

- 2026年6月12日(金) 18:30~
- 上海鄉村餐廳 濟南店

※参加登録は3月に開始予定です。

6/13 17

友愛の家 ブース出展 (予定)



- 2026年6月13日~17日 09:00~18:00
*17日のみ09:00-14:00
- 友愛の家 台北南港展覽館(TaiNEX)
- ブースでは台湾の学友のほか「よねやま親善大使」がPR活動をします。

6/15 Mon

国際大会 分科会

- 2026年6月15日(月) 09:30~10:30
- 分科会タイトル：広がる基盤・つながる世界
~ロータリーとともに歩むロータリー学友の実践~

登壇者 (米山学友)


 林田敏さん (台湾)
 2000-01/札幌清田RC


 朴貞子さん (中国)
 2006-08/岸和田RC


 バンバット,
 トゥメンツルゲルさん
 (モンゴル)
 2014-15/大塚南RC


 フィンティミーハンさん
 (ベトナム)
 2001-02/金沢みなとRC

学友4名が学友会活動やネットワークを紹介し、ロータリー学友が「奉仕の理想」を共に実現するロータリーのパートナーとなっているヒントを共有します。

2026.01.31版



ご清聴ありがとうございました。